

2022年2月21日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

大阪府による最先端のカーボンニュートラル技術開発・実証事業への寄付について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）は、今般、大阪府が大阪府議会での承認を経て創設するカーボンニュートラル（以下 CN）技術開発・実証等への補助制度（以下 本制度）に対し、2022年度に5億円の寄付（以下 本寄付）を行うことを決定いたしました。

大阪府は2050年のCN実現に向けて、2021-2030年度の10年間の大阪府地球温暖化対策実行計画を策定し、2030年度の府域のGHG排出量を2013年度比で40%削減することを掲げております。また、2025年開催の大阪・関西万博でも、会場を未来社会の実験場として、日本の革新的な技術を世界に披露・発信する方針であり、大阪発のエネルギービジネスの創出および促進、CNに関する大阪の認知度向上、そして更なるエネルギービジネスの成長の支援を目指して本制度を創設する予定です。

MUFGでは、水素社会の実現を目指すH2Osakaビジョン推進会議^[1]での大阪府との対話を経て、2021年7月に大阪府の燃料電池バス導入促進事業へ寄付を実施するなど、大阪地域での水素サプライチェーンの構築・CN推進の支援に取り組んでまいりました。

2021年5月には「MUFGカーボンニュートラル宣言^[2]」を発表し、脱炭素に向けた取組を加速させるとともに、自社のパーパス（存在意義）を「世界が進むチカラになる。」と定め、全てのステークホルダーが次へ、前へ進むチカラとなること、そのために全力を尽くすことを企業活動の指針としております。

MUFGは、本寄付により大阪府が進むチカラとなり、引き続き持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【補助制度の概要】

事業概要	2025年大阪・関西万博、脱炭素社会に向けて、カーボンニュートラル技術の試作開発や実証等を行う事業者に対し、必要な経費の一部を補助する制度
金額	500,000千円
補助上限額・補助率	補助上限額：100,000千円、補助率：2/3以内
支援対象事業イメージ	電動船の開発・運航、放射冷却素材の活用、ごみからの水素製造、バイオプラスチック製品の開発及び供給システムの構築 など

^[1] 「H2Osakaビジョン」の実現に向けて設置された、株式会社三菱UFJ銀行も参画する産官学プラットフォーム。詳細については、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/energy/h2osakav/index.html>

^[2] 「MUFGカーボンニュートラル宣言」の詳細については、以下のリンクをご参照ください。

https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2021/pdf/news-20210517-003_ja.pdf